



## 消防団入団のきっかけ

加島副団：… 父も消防団に入団しており、  
(以下略) 幼い頃からその背中を見て育ち  
ました。地域のために活動する  
父の姿に憧れて入団し、いまだ  
は私の息子や娘、娘の夫、甥も  
入団し、家族みんなが活動に取  
り組んでいます。

## 実際の活動内容

最近では地域の防災意識が高  
まっていることもあり、訓練を  
行う機会が増えました。訓練の  
内容は、水害が発生したと仮定  
して行う土嚢(どのお)積み等  
の水防訓練、ポンプ車からの放  
水訓練、地域の自主防災会と共  
に参加する”1・17を忘れない  
”訓練等、多岐に渡ります



消防団は消防局からの連絡を受けて実際の  
火災現場等に駆けつけるため、いざとい  
う時に慌てずにはすばやく行動できるよう、  
器材の準備や点検はもちろん、災害時の心  
構えについても訓練を繰り返すことで養っ  
ています。

仕事をしている団員が多いので、活動は  
夜や休日に行うことが多いですが、災害が  
起きた時に適切に動くことのできる人材を  
養うことは地域のためになり、ひいては  
個々の家庭のためになることを、ご家族の  
皆様にはご理解頂き、できれば快く送り出  
して頂ければ幸いです。

## 入団してよかったこと

日々の活動を通じ、地域の方の安心と安  
全を守っていると実感できます。  
また、消防団員は各々が自らの立場をよ  
く理解し、節度を保った生活をするよう心  
掛けています。そういった姿勢を身につけ  
ることができたことも、入団してよかった  
と思うことです。

## 活動をする上で気を付けてい ること

火災時、プロパンガスの爆発事故や資器  
材等の破損事故等が起こることがあります。  
訓練時に器材の点検を入念に行っておく  
こと、活動時は危険物等の位置をよく確認  
すること等、団員の安全確保のための声掛  
けを日々行っています。

## 地域にアピールしたいこと

消防団の活動を理解し、応援して下さ  
ることが団員のやる気につながります。  
ですので、皆さん応援をお願い致します。  
また、月日が経つにつれて大きな災  
害を経験した方が高齢になられます  
が、次世代の人達に”自助の大切さ”  
を伝える等、何かあった時に自分達で  
動くことのできる若者を地域で育てて  
いきたいです。消防団への入団は18歳  
から45歳まで、男女問わず受け付けて  
いますので、是非ご参加下さい。



(NEXT: 潮江分団長)

# コミュニティ活動功労者表彰

## 高校生が受賞



表彰式の様子

県立神崎工業高等学校 生徒会と  
県立尼崎小田高等学校 普通科  
看護医療・健康類型の高校生が受賞

小田地域から、コミュニティ活動の中核となり実践活動をされている方を「コミュニティ活動功労者」として表彰する本市の表彰事業で、高校生の皆さんが受賞しました。

兵庫 県立神崎工業高等学校 生徒会

平成24年から毎年12月頃、生徒会で作製した焼き芋機を使って焼き芋を作り、たんぼ保育園の園児に配布することで園児との交流を図り、地域コミュニティ活動に貢献されています。

県立尼崎小田高等学校

普通科看護医療・健康類型

平成28年度から「防災・減災 地域コミュニティづくり」高校生にできることをテーマに災害時要援護者の支援について研究されています。地域自治会の防災訓練への参加、防災マップの作成及び小学校での防災授業の実施など、災害に強いまちづくりに積極的に取り組まれています。また、東北地方や熊本県の益城町でボランティア活動をされています。

## 第1回オダふおとコンテスト開催！

入賞者の授賞式を実施

小田地域に関わる若い世代を盛り上げようと、小田会、市民運動小田地区推進協議会、地域企業、地域課の共催でフォトコンテストを実施しました。

審査には写真家の小林哲朗氏に加わり、多数の応募作品の中から16点が入賞し、1月27日に小田北生涯学習プラザで授賞式を開催しました。

長洲在住の高校2年生の作品「斜陽」がグランプリとなりました。



【写真（上・授賞式の様子 下・グランプリ作品「斜陽」）】

社協小田支部より

高齢者等見守り研修会を中央地区と合同で開催しました



小田地区では、5地区で高齢者等の見守り活動を実施しています。一人暮らしや日常生活に不安のある方など593人の見守り希望者を234人の見守り推進員・協力員で見守りしています。

研修会では、見守り活動をする上で必要な「声掛け」や「コミュニケーション」の基本を実践形式で行いました。研修後、見守りの成功談・失敗談や他地区でのおもしろい見守り事例などの情報交換を行いました。



見守り活動に興味のある方は小田支部まで



社協キャラクター あまりん

尼崎市社会福祉協議会小田支部  
電話：6488-5443 FAX：6488-5443  
メール：oda@amasyakyo.jp